

大使館からのお知らせ

【注意喚起】シリア邦人拘束事案について

2月1日（日本時間）、イスラム過激派組織のISIL（イラク・レバントのイスラム国）を名乗る人物が、シリアで行方不明となっていた湯川遥菜氏に引き続き、後藤健二氏と見られる人物を殺害した映像が、インターネット上で配信されました。同映像には、日本政府へのメッセージとして、「このナイフは健二を屠るだけではなく、日本の国民がいるところではどこでも殺戮を続けるだろう」と述べ、日本人に危害を加える可能性についても言及しています。

この事件は各国のメディアで多く取り上げられており、国際的に非常に注目を集めている事件であることや、最近ではISILまたはISILの主張に賛同しているとみられる者によるテロが世界各地で発生していること等を踏まえれば、日本人、日本企業、及び、日本人学校等の我が国の関係機関や組織がテロを含む様々な事件に巻き込まれる危険があると考えられます。

この事態を受け、2月1日、安倍総理より国内外の邦人の安全確保につき改めて声明が出されるとともに、外務省は注意を呼びかける広域渡航情報を発出しました。（「声明」、「広域渡航情報」とも以下参照。）

つきましては、上記のような情勢を十分認識し、誘拐、脅迫、テロ等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、外務省が発出する渡航情報や報道等により最新の治安・テロ情勢等の関連情報の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに、状況に応じて適切な安全対策が講じられるよう心掛けてください。

当館としても、既に当館HPに「声明」、「広域情報」を掲載致しましたが、引き続き関連の情報収集に努め、随時、お知らせして参ります。

【参考】

シリア邦人拘束事案に関する新たな内閣総理大臣声明（外務省ホームページ）

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/tp/page4_000947.html

渡航情報（広域情報）「イスラム過激派組織のISIL（イラク・レバントのイスラム国）による日本人と見られる人物の殺害を受けた注意喚起」（外務省海外安全ホームページ）

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C027>

【治安情報】当地新聞より（殺人事件、強盗事件など、毎月の主要な事件について概要をお知らせしています。）

「警護官パパスで未成年強盗犯を射殺」

1月6日午前11時半、サンホセ市パパスにおいて、飲料水の配達人がトラックから飲料を降ろしていたところ、強盗犯5人に襲われそうになったため、バイクで警護に当たっていた警備会社の警護官が強盗犯に向け銃を発砲した。犯人のうち2人が銃弾を受け、17歳の男性は間もなく死亡した。飲料水の配達人2人及び警護官に怪我はなかった。

「1歳の子の前で元恋人を殺害」

1月5日午後10時過ぎ、プンタレナス県アギーレ市ケポスにおいて、18歳の男性が過去2年間同居していた18歳の女性と口論になり、1歳の子の前で銃撃し殺害した。18歳の男性はその後、銃で自殺した。加害者の男性はこの女性からDVで訴えられていた。

「白タク運転手銃殺」

1月5日夜、リモン市内において、32歳の白タク運転手が何者かに銃殺された。車内には所持品が残っていたことから、強盗目的ではなく復讐目的で殺されたものとみられている。

「タクシー運転手を銃殺後、逃走」

1月7日午後12時半、リモン市内において、28歳のタクシー運転手が銃殺された。犯人は発砲後、現場から逃走した。車内には所持品が残っていたことから、強盗目的の殺人ではないとみられている。

「アラフエリータで外国人銃殺」

1月7日午前1時、サンホセ県アラフエリータ市において、28歳のコロンビア人男性が、バイクに乗った2人組の男に銃殺された。

「観光船沈没、3名死亡」

1月8日午前8時45分、プンタレナス県ガラビト市エレドゥーラ海岸からトルトゥーガ島に向かっていた観光船が沈没した。乗客・乗組員合わせて109名が乗船していたが、乗客3名（70歳のカナダ人、68歳のアメリカ人、80歳の英国人）が死亡し、残る106名は救出された。負傷者は2名。

救出された乗客の証言によると、強風のため窓から船内に水が入り込み、船が傾いた後、間もなく沈没したという。事故当時は風速60キロの強風が吹いており、2メートル近い波があった。

「45歳の男性、焼死体で発見」

1月10日午前2時、リモン県リモン市において、45歳の男性が女性とともに車で走行中、後続車から銃撃を受け停車した。男女が降車したところ、男性のみ後続車に無理矢理乗せられ連れ去られた。

12日午前11時、男性は焼死体で発見された。男性には麻薬関係の前科があった。

「31歳の男性、銃撃され死亡」

1月15日午後8時、プンタレナス県パリータ市の海岸において、31歳の男性が銃で数発撃たれ死亡した。男性には麻薬関係の前科があった。

「23歳の男性、死体で発見」

1月15日午後10時、サンホセ県クリダバ市にあるスポーツクラブ前の空き地において、23歳の男性の死体が発見された。男性は13日から行方不明となっていた。死体は手足をロープで縛られ、顔はテープで覆われており、右腕・手・背中には火傷の痕があった。

「83歳の男性、鉄パイプで殴打され死亡」

1月16日午前9時、プンタレナス県ゴルフート市の道端で83歳の男性が鉄パイプで殴打され死亡した。男性は所持金50万コロンを奪われており、強盗殺人とみられている。

「19歳の女性、元恋人に銃撃され死亡」

1月19日午前5時、サンホセ県エスカス市サンアントニオにある民家において、19歳の女性が以前交際していた22歳の男性に銃で胸部を撃たれて死亡した。この男性は、別れてからも女性につきまとうなどしていたが、復縁を拒否されたため殺害したとみられている。

「42歳の男性、銃撃され死亡」

1月19日午後9時40分、アラフエラ県アラフエラ市において、42歳の男性が別の男性と口論になり、銃で撃たれて死亡した。

「サバナノルテの日産代理店付近で銃撃戦」

1月22日午後10時、サンホセ県サンホセ市サバナノルテにある日産代理店本社付近の路上において、バイクに乗った2人組の男が車両に向けて銃を数発発砲し、銃撃戦になった。直後、バイクの2人組は逃走し、車に乗車していた男性1名と女性1名は車両をその場に放置し、タクシーに乗車してその場から立ち去った。現場には薬きょう6個が残っており、車両には2発の弾痕があった。

「身元不明の男性、焼死体で発見」

1月23日午後12時45分、リモン県ポコシ市カリアリにあるバナナ農園において、男性の焼死体が発見された。死体は手をロープで縛られ、頭部を銃で撃たれた上に焼かれており、身元の特定が進められている。

「タクシー運転手、銃撃され死亡」

1月23日午後4時40分、サンホセ県ティバス市の路上において、タクシー運転手の男性が後頭部を銃で撃たれて死亡した。乗客による強盗殺人事件とみられている。

「46歳の弁護士、自宅で強盗に襲われ負傷」

1月24日午後8時45分、サンホセ県モラビア市において、46歳の弁護士の男性が自宅に入ろうと車から降りたところ、3人組の強盗に襲われた。男性は抵抗したため、銃で撃たれ負傷したが、命に別状はない。

「バイクに乗った男が銃を撃ちながら走行、女性2名負傷」

1月29日正午、サンホセ県サンホセ市パバス地区ロマスデルリオにおいて、バイクに乗った男が銃を撃ちながら走行し、45歳の女性が胸部・腹部・脚に被弾し重体となり、女性の娘が腕と脚に被弾し負傷した。

「資産家の男性、銃撃され死亡」

1月31日午後2時20分、サンホセ県ティバス市にある洗車場において、同洗車場のオーナーであり資産家である56歳の男性がバイクに乗った2人組の男に銃撃され、死亡した。所持金等は奪われていないことから強盗目的ではないとみられている。死亡した男性は以前からトラブルに巻き込まれ、身の危険を感じていると警察に相談しており、過去には警察の警護を受けていたこともあったが、28日にサンカルロス署へ相談した際には警護を断ったという。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田)まで